

平成15年9月8日
北海道電力株式会社

泊発電所2号機 再生熱交換器室内における漏えいについて【続報】

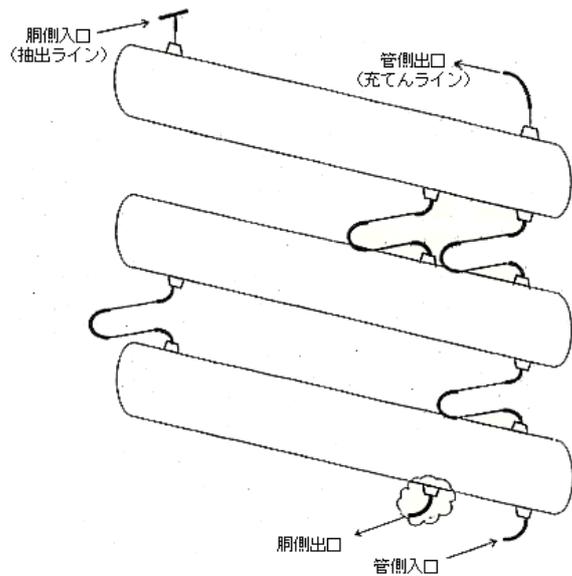
泊発電所2号機は、運転状態を示す各種パラメータに異常はなく、発電所の運転状態は安定しております。(当該部からの漏えいは停止しております。)

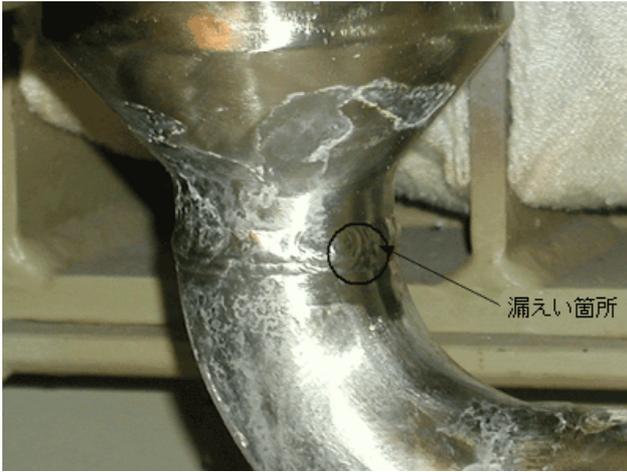
9月7日21時頃、現場にて再生熱交換器胴側出口管台と配管の保温材を取り外したところ、管台と配管との溶接部から僅かな蒸気が漏えいしていることを目視にて確認しました。

その後、当該部の温度が下がるのを待ち、9月8日8時50分頃から非破壊検査(液体浸透探傷検査:PT)を開始しました。

10時30分現在、PTを続行し、その後超音波探傷検査(UT)を実施することにより、漏えい箇所の特定を行う予定です。

【泊発電所2号機 再生熱交換器】





約6cm